



Information

AF 性能をさらに進化させ、映像表現の自由度を上げる

ニコン Z シリーズ用ファームウェアを 2 種同時公開

2020 年 2 月 18 日

株式会社ニコン(社長:馬立 稔和、東京都港区)の子会社、株式会社ニコンイメージングジャパン(社長:北端 秀行、東京都港区)は、「ニコン Z マウントシステム」のパフォーマンスをさらに高めるフルサイズ(ニコン FX フォーマット)ミラーレスカメラ「ニコン Z 7」「ニコン Z 6」のアップデート用「ファームウェア Ver.3.00」および APS-C サイズ(ニコン DX フォーマット)ミラーレスカメラ「ニコン Z 50」のアップデート用「ファームウェア Ver.1.10」を公開しました。



※ ここで使用している画像は、機能を説明するためのイメージです。

「ファームウェア Ver.3.00」を Z 7、Z 6 に適用することで、人物の顔・瞳認識に加え、新たに犬と猫の顔・瞳を認識しピントを合わせる「動物 AF」を搭載します。「動物 AF」を使用することでフォーカスポイントの操作に気を取られることなく、動物とのコミュニケーションや構図に集中でき、狙った写真を撮ることが可能です。また、ターゲット追尾の動作が、デジタル一眼レフカメラの[3D-トラッキング]に似た操作感に変更され、さらに使い勝手が向上する他、メモリーカード「CFexpress」※の対応ブランド数が増加します。

Z 50 用「ファームウェア Ver.1.10」では、動画の自分撮りモード時の AF モードを改善。常に顔にピントを合わせ続けたいというユーザーの希望に応えました。

ニコンでは、今後も変化するユーザーニーズに柔軟に対応し、お客さまの創作意欲を刺激する映像体験を提供し続けます。

※ CFexpress は CFA(CompactFlash Association)の商標です。

ファームウェアアップデートで向上する機能

Z 7、Z 6 用「ファームウェア Ver.3.00」

1. 犬や猫の顔や瞳に自動的にピントが合う「動物 AF」

動物 AF が新たに追加され、顔認識 AF と瞳 AF の機能が犬と猫にも対応します。複数の動物の顔認識・瞳認識を行っている場合は、左右のセレクトを使用することにより任意の顔・瞳が選択可能です。動画撮影時には「顔認識」のみ動作します。

2. ターゲット追尾 AF の使い勝手向上

静止画モードでフォーカスモードを AF-C に設定している場合、ターゲット追尾の動作が、デジタル一眼レフカメラの[3D-トラッキング]に似た操作感になります。シャッターボタンを半押ししている間、または AF-ON ボタンを押している間は追尾を行い、ボタンから指を放すと追尾を終了します。また追尾終了後はフォーカスポイントが追尾を開始する前の位置に戻るよう改善しています。

さらに、「オートエリア AF 画面」と「ターゲット選択画面」の間の遷移をカスタムボタンでも可能にし、EVF を覗きながらのターゲット追尾への移行や追尾対象となる被写体の切り替えが容易になるよう、使い勝手が向上しています。

3. メモリーカード「CFexpress」対応

Sony 製カードに加え、ProGrade 製、Lexar 製の CFexpress カード TypeB にも対応します。

Z 50 用「ファームウェア Ver.1.10」

動画の自分撮りモード時の制御仕様変更

動画の自分撮りモード時、AF-S 固定となっていた AF モードを AF-F 固定に変更。この仕様変更により、動画撮影中に常に顔にピントが合うように改善しました。



※ ここで使用している画像は、機能を説明するためのイメージです。

※ 記載されている会社名および製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

この件に関する問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン 広報宣伝部
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

大塚・馬橋
03-6718-3016

株式会社ニコンイメージングジャパン PR 事務局
ビルコム株式会社 担当:星・福田
TEL:03-5413-2411/FAX:03-5413-2412/Mail:nikon-press@bil.jp

本プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。